

# まちがどスナツプ



年の瀬を迎えたまちは、クリスマスやお正月を迎える準備で華やかさを加え、明るくにぎわいました。「年越しそば打ち教室」や「もちつき大会」などの行事も行われ、新年を迎える準備もばっちり!?。新しい年に向けてGO!

ポインセチアとゴールドクレストのクリスマスツリー



12/12 藤田保育所ふれあいもちつき大会



12/4 カード作り教室



12/17 年越しそば打ち教室



12/9 ちぎり絵年賀状教室



12/16 子ども体験教室  
～ハンドベル

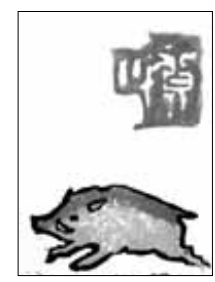


12/13 ちぎり絵教室



12/12 園芸講習会

11/26 初心者木版画教室



12/20 金鑽神社神迎祭



12/3 地元農産物直売会

### 秋田からのリンゴ

12月9日、本庄東中学校に約700個のリンゴが届けられました。送ってくださったのは秋田県横手市の渡邊保子さん。「皆様こんにちは、私の名前は十郎リンゴと申します。」の書き出しで始まる生徒への激励メッセージが、送られた一つひとつのリンゴに添えられていました。

クワ一本で荒れた山々を開墾し、ランプ生活の中、リンゴ栽培を始めたお父様の十郎さん。その十郎さんが今から10年前に他界され、お嫁に行った三女の保子さんが「オラがやる！」の一言で引き受けたとのこと。しかし、今までリンゴ栽培に携わったことのない保子さん。人に聞いたり、本を読んで始めたものの、その後の苦労は並大抵ではなかったそうです。虫に喰われたり動物に荒らされたり、台風や収穫前的大雪で、根っこから倒れたり枝が折れたり。しかし、そのたびに保子さんは強く、強くなっていったそうです。

「皆さん！辛く苦しい事の後には素晴らしい事が待っていますよ。明日が見えなくとも未来は見えます。だからどんな事があっても、決してくじけることなく夢と希望を持ってね。」12月議会でこのメッセージは朗読されました。聞いていて目頭が熱くなりました。東中の生徒や先生もこの温かい贈り物に大変励まされ、元気が湧いたそうです。リンゴが届いてから5日後、生徒からのお礼の手紙600通が渡邊さんに送られたそうです。

「蔵の財より身の財すぐれたり、身の財より心の財第一なり」メッセージに書いてあったこの格言を胸に、私も渡邊さんと東中学校から元気をいただき、一年間頑張ろうと思います。

本庄市長 **吉田信解**



12 / 2  
障害者作品展  
市役所市民ホール

12 / 3

文化団体連合会合同文化祭  
中央公民館



12 / 16 県北美術展  
シルクドーム

めでたく100歳を迎えられた児玉町秋山にお住まいの高柳もんさん（明治39年11月27日生まれ）を吉田市長が訪問し、お祝いの「寿状」を手渡しました。



祝  
百  
歳



12 / 13 男性の料理教室  
児玉保健センター



寿2丁目にお住まいの内藤文夫さんから、学童保育所として利用してほしいと、寿2丁目地内の土地（約320㎡）と新築家屋（約87㎡）を寄附していただきました。  
市では、「本庄市学童保育室」として4月から運営を開始します。

善意ありがとうございます

いづれいします



12 / 3  
第1回スポーツ少年団交流会  
シルクドーム